



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月29日

上場会社名 株式会社エイトレッド 上場取引所 東
 コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 新 祐介 TEL 03-3486-6312
 半期報告書提出予定日 2025年10月31日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,405	2.1	482	△8.8	487	△8.0	322	△8.9
2025年3月期中間期	1,377	17.4	529	9.6	530	9.7	354	9.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	43.12	—
2025年3月期中間期	47.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	6,474	5,351	81.4
2025年3月期	6,267	5,137	80.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 5,267百万円 2025年3月期 5,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2026年3月期	—	17.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,120	12.8	1,170	10.6	1,170	10.3	784	7.6	104.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	7,487,400株	2025年3月期	7,487,400株
2026年3月期中間期	185株	2025年3月期	185株
2026年3月期中間期	7,487,215株	2025年3月期中間期	7,487,215株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3の「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政成績の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果等により緩やかな景気の回復が続くことが期待されるものの、地政学的リスクの高まりや物価上昇、供給面での制約、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するIT業界は、ソフトウェア投資が増加しており、企業収益の改善等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。また、少子高齢化や労働人口の減少等を背景に、労働生産性の向上が課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要の高まりを受け、当社が展開するワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催、市場優位性を確保するための製品・サービスの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は14億5百万円(前年当中間期比2.1%増)、営業利益は4億82百万円(同8.8%減)、経常利益は4億87百万円(同8.0%減)、中間純利益は3億22百万円(同8.9%減)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、クラウドサービスへシフトしたこと等により売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、新規販売本数の減少により売上高が減少いたしました。その結果、当中間会計期間のX-p o i n t売上高は97百万円(同23.4%減)、A g i l e W o r k s売上高は4億92百万円(同19.7%減)となり、パッケージソフト全体の売上高は、5億90百万円(同20.4%減)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及びDXの推進に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。また、パッケージソフトのX-p o i n tからのシフトも増加いたしました。その結果、当中間会計期間のクラウドサービス売上高は、8億15百万円(同28.2%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は64億74百万円となり、前事業年度末に比べ2億6百万円の増加となりました。これは、主に売掛金が58百万円減少したものの、現金及び預金が2億45百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は11億22百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が16百万円増加したものの、契約負債が29万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は53億51百万円となり、前事業年度末に比べ2億14百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億3百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億45百万円増加し、52億37百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億85百万円(前年同期は5億42百万円の獲得)となりました。これは、主に法人税等の支払が1億48百万円あったものの、税引前中間純利益が4億87百万円、減価償却費が1億95百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億20百万円(前年同期は2億22百万円の使用)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が2億68百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億19百万円(前年同期は97百万円の使用)となりました。これは、配当金の支払が1億19百万円あったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,991,470	5,237,271
売掛金	281,554	223,224
電子記録債権	75,331	65,306
その他	87,577	41,253
流動資産合計	5,435,933	5,567,056
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	—	2,784
その他(純額)	4,886	3,887
有形固定資産合計	4,886	6,671
無形固定資産		
ソフトウェア	711,161	674,747
ソフトウェア仮勘定	38,398	149,301
無形固定資産合計	749,559	824,048
投資その他の資産	77,206	76,595
固定資産合計	831,652	907,314
資産合計	6,267,586	6,474,371
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,289	35,646
未払法人税等	158,530	175,426
契約負債	626,218	596,823
賞与引当金	67,029	61,618
その他	161,041	168,436
流動負債合計	1,044,109	1,037,950
固定負債		
退職給付引当金	56,373	57,787
役員退職慰労引当金	30,035	27,081
固定負債合計	86,408	84,868
負債合計	1,130,517	1,122,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,916	621,916
資本剰余金	621,916	621,916
利益剰余金	3,820,936	4,023,977
自己株式	△397	△397
株主資本合計	5,064,370	5,267,412
新株予約権	72,698	84,140
純資産合計	5,137,068	5,351,552
負債純資産合計	6,267,586	6,474,371

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,377,064	1,405,353
売上原価	462,372	510,594
売上総利益	914,691	894,759
販売費及び一般管理費	385,098	411,970
営業利益	529,592	482,789
営業外収益		
受取利息及び配当金	397	4,763
その他	15	-
営業外収益合計	413	4,763
経常利益	530,005	487,552
税引前中間純利益	530,005	487,552
法人税、住民税及び事業税	177,445	163,975
法人税等調整額	△1,876	740
法人税等合計	175,568	164,715
中間純利益	354,437	322,836

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	530,005	487,552
減価償却費	167,519	195,572
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,531	△5,411
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,322	1,414
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,050	△2,954
受取利息及び受取配当金	△397	△4,763
株式報酬費用	10,600	11,442
売上債権の増減額(△は増加)	△31,362	68,354
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,453	4,357
契約負債の増減額(△は減少)	36,400	△29,395
未払金の増減額(△は減少)	16,274	△732
その他	△3,770	3,644
小計	731,719	729,081
利息及び配当金の受取額	397	4,763
法人税等の支払額	△189,456	△148,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	542,660	585,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,743	△2,864
無形固定資産の取得による支出	△221,224	△268,712
敷金の回収による収入	—	52,432
その他	—	△1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,968	△220,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,299	△119,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,299	△119,781
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	222,392	245,801
現金及び現金同等物の期首残高	4,514,017	4,991,470
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,736,409	5,237,271

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。